

(様式第1号)

平成22年度第1回 芦屋市立図書館協議会 会議録

| | | |
|-------|--|--|
| 日時 | 平成22年10月19日(火) 13:30~14:45 | |
| 場所 | 図書館本館2階 集会室 | |
| 出席者 | 委員長代理 | 中尾 滋男 |
| | 委員 | 梓 加依 |
| | 委員 | 大竹 恵子 |
| | 委員 | 河村 照子 |
| | 委員 | 北里 佐和子 |
| | 委員 | 渡辺 宏子 |
| | 事務局 | 橋本社会教育部長, 高田図書館長 早戸主査, 丸尾主査, 渡辺(記録) |
| 欠席者 | 委員長 | 芝 勝徳 |
| | 委員 | 水谷 孝子 |
| 事務局 | 社会教育部図書館 | |
| 会議の公開 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 | <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 傍聴者数 | 0人 | |

1 会議次第

(1) 事務局挨拶

(2) 議題

図書館運営の現状について

1) 平成21年度決算報告

2) 業務報告

2 提出資料

資料1 平成21年度決算(平成21年度兵庫県芦屋市歳入歳出決算事項別明細書)

3 審議経過

(開会)

(中尾委員長代理) 図書館協議会を開会します。まず始めに、この会議の公開・非公開についてお諮りいたします。この会議は、芦屋市情報公開条例第19条に基づき、この会議は公開としますがよろしいでしょうか。また、会議録を作成し公開すること、さらに、芦屋市ホームページに掲載する件についてよろしいでしょうか。

(『異議なし』の声おこる)

(中尾委員長代理) ご異議なしと認めます。非公開とすべき事案・意見はないようですので、この会議は公開とします。

(中尾委員長代理) 次に、議題の1、図書館運営の現状について、に入ります。事務局説明をお願いします。

(事務局高田) お配りしている資料1を基に平成21年度図書館費決算を説明します。主に、歳出についてご説明いたします。A3の資料をご覧ください。これは、市議会決算委員会に提出した資料のうち、図書館費の部分です。備考欄を上から順にわかりにくい部分を中心にご説明します。まず、非常勤嘱託職員報酬は6名分です。臨時的任用職員賃金はいわゆるアルバイト職員1名分と平日返本業務と土日返本業務分です。大人が楽しむおはなしの会は、鴨の子文庫の大谷朝(おおたにあさ)氏に講師をお願いしました。その下の講演会謝礼は、映画

監督の大森一樹氏をお招きして、『村上春樹氏の風の歌を聴け、芦屋1970年代の風景』という題目で平成21年10月18日に秋の読書講演会を実施したものです。一枚おめぐりいただきまして、施設の保守関連の委託料があります。このうち、下から2番目、図書館書架転倒防止工事ですが、国の経済危機対策交付金事業として実施したもので、図書館本館、打出分室、大原分室で、書架の転倒防止の工事を実施したものです。また、その下、新聞記事データベース化事業についても、ふるさと雇用再生特別交付金事業として平成21年度と22年度にかけて実施しているものです。一番下、図書費ですが、決算額としては、前年度と比較して約270万円増の2267万円余りの額となりました。主なところは以上です。

(中尾委員長代理) 何かご意見、質問はございませんか。

(中尾委員) 新聞記事データベース化は全額補助金でしょうか。

(事務局高田) 全額補助金で対応しています。

(事務局橋本) なぜ、朝日新聞と毎日新聞なのか、一番地域に身近な神戸新聞はなぜないのかと申しますと、神戸新聞のデータの基がないからです。

(事務局高田) 原紙保存しているのが、朝日新聞で昭和27年以降、毎日新聞も昭和28年以降の阪神版で、これのデータ化を実施しました。

(中尾委員) 阪神版だけでしょうか？

(事務局高田) はい、原紙で図書館が保存しているのが阪神版のみです。この事業は図書館で保存をしている資料、これが新聞原紙なのですが、かなり経年劣化で傷んできており、この貴重な資料を保存する必要があると考えました。阪神版以外の全国版は縮刷版として出版されています。また、朝日新聞、毎日新聞とも新聞記事のデータベース事業を会社として実施している関係もあります。新聞社がデータベースを作成し、有料で購読者に提供している実態があるということです。そこも図書館が独自にデータベース化することは、新聞社の事業と競合すると考えます。この事業は、図書館内にある新聞のうち、貴重な阪神版を資料として保存するための事業とご理解ください。

(梓委員) データベース化の基になるのは、現在も保存しているのでしょうか。それは利用者が利用できるのでしょうか？

(事務局高田) 原紙保存している資料は今後も当面保存し、利用者はこれを利用していただくこととなります。また、利用者は著作権法に則り、図書などと同様、図書館内での複写が認められているところです。しかし、実際には、この原紙保存している資料の状態が悪くなってきており、紙自体がボロボロになってきています。このため、将来的には利用が困難になる事態も予測され、この際、コンピュータデータとしてデータベース化し、保存しようと考えたものです。

(梓委員) 著作権法の問題があるかもしれませんが、市民、利用者側に立って利用できるものにしていただきたいと思います。新聞社との調整が必要ならそれもお願ひしたいと思います。

(事務局高田) 利用については著作権が新聞社にあることから慎重な検討が必要と考えます。なお、検索が可能な仕組みにしておりますので、その時代を調べるツールとして活用できると考えます。

(中尾委員) 紙ベースの保存はやめるのでしょうか。

(事務局高田) スペースの問題があるのでやめたいのですが、今のところ廃棄までは考えていません。データベースの活用の中で保存についても見直すことになる

と思います。

(中尾委員長代理) それでは、議題の2、業務報告について、事務局から説明をお願いします。

(事務局高田) 先ほどは決算報告でしたので、主に21年度についてご報告申し上げました。ここでは、主に今年度についてご報告いたします。まず、今年度は例年、6月に実施していた本館の蔵書点検を4月に実施いたしました。また、利用者の利便性向上のため今年度から初めて、本館、打出分室、大原分室の蔵書点検による休館、休室の時期をずらして実施することにいたしました。ずらしたことにより、本館が蔵書点検で休館していても、打出分室、大原分室は開室している状態、打出分室が休室していても本館、大原分室は開館、開室している状態を実現しました。また、本館の蔵書点検期間中には、職員研修を実施しました。一つは、職員を対象とした著作権法研修で県立図書館から講師をお招きし実施いたしました。もう一つは、危機管理の一環として、救急救命の講習会を実施しました。これは、職員だけでなく打出分室のボランティアや大原分室の委託先の職員を含めて実施しました。また、児童奉仕関連としては、ブックスタート事業、これは、赤ちゃんとその保護者に絵本や子育てに関する情報などが入ったブックスタート・パックを手渡し、絵本を介して心ふれあうひとときをもつきっかけをつくるという活動で、本市の場合、保健福祉センター内の保健センターが実施主体で、4か月検診時に本を手渡す事業を今年度から実施しています。折角の本に関する事業ですし、本を手渡す際、ボランティアの協力を得ながら、絵本を読みきかせるなど、この事業への協力を9月から実施することにいたしました。なお、この際には、図書館の利用案内、図書館で作成したブックリストなども一緒に検診に来られた親子に配布しております。また、図書館の開館日ですが、規則改正を行い、今年度から年末の休館を従来12月28日から29日からとし、今年度は12月28日を開館することに致しました。また、この10月25日から年末までですが、図書館の外壁補修工事を実施いたします。これは、昨年度から4年間で実施する図書館施設整備事業の一環で、今年が2年目です。事業全体としては、平成24年度に完了見込みです。あと、業務的には図書の予約件数が増加しており、これはインターネット予約の定着によるものですが、平成20年度で前年度比、31.1パーセント増、21年度で34.4パーセント増と急増しており、平成21年度は年間10万件弱となりました。これは、平成21年6月から在架予約を実施した影響もありますが、予約による業務負担が増えているということも現状としてあるところです。

(中尾委員長代理) 何かご意見、ご質問はございませんか。どうぞ。

(河村委員) ブックスタート事業の本の選定は。

(事務局丸尾) 事業実施にあたり、保健センターから読みきかせの本の選定については、図書館にお願いすると話がありました。ブックスタートには2種類の本を用意しており、保護者に1冊を選んでもらっている。読み聞かせに使っている本については、図書館が赤ちゃん絵本のブックリストを作っているのので、その中から保護者にを選んでもらって読んでいます。

(中尾委員) 予約は約10万件ですか。

(事務局高田) 内訳については、平成21年度でインターネット予約6割強、来館予約が4割弱の比率となっており、インターネット予約が急増している状態です。このインターネット予約は家のパソコン、携帯電話から可能な予約が可能

となっている仕組みです。利用者の利便性は向上しているところですが、一方、予約本を集めるのは職員であり、それを手作業でしなくてはなりません。業務的にそこに職員の手が取られつつあります。

(梓委員) 予約本の取り置きはどうなっていますか。

(事務局高田) 予約がかかっている資料を集めてきて、提供できる状態にして、原則、7開館日後までカウンター内に取り置き状態で置いておく。早く取りに来られたら良いのですが、遅いと資料の回転面から言うとマイナス要素かなと思っています。統計はとっていないのですが、予約だけして取りに来ないという場合もあります。こういうケースが増えると他の利用者がその資料を利用できず困りますので、今後、注意深く推移を見ていく必要があると思っています。

(梓委員) 取りに来られなかった人が増えると困りますね。

(事務局高田) 現在のところ、あくまで印象ですが、大きな支障は出ていないと判断しています。特に、インターネット予約が現在定着しつつある段階とっており、キャンセルの件数もそれほど多くはないと考えています。しかし、ネットショッピング、図書館は無料ですから、ネットショッピング感覚で予約のみをネットで入れ、取りには来ないということが将来増えるかもしれないとの危険は持っております。

(梓委員) ネットや携帯から予約できるのは、便利ですので今後増えていくと思います。それに伴ってデメリットを把握しておく必要はあると思います。

(事務局橋本) デメリットと言えるかわかりませんが、様々な業種でインターネット予約を利用することで窓口や店舗が減っている。一方、インターネットを利用できない人には不便になってくる。このことを図書館にあてはめると、来館者が減って、カウンター業務が減って予約本の準備が主たる業務になっていく可能性もあるかもしれません。

(事務局高田) 先日、子育てをされている方を対象としたミニコミ誌を編集されている方とお話する機会があって、忙しい子育てをしている方にとって自宅で予約できる仕組みなど、図書館が非常に便利になっているというお声を聞かせていただきました。インターネットで物が買えるというのと同じ感覚で利用できるような利便性も向上してきました。その際、私からお話させていただいたのですが、子どもが少し大きくなった際に、図書館の中で目的をあまり持たずブラブラと言いますか、時間をかけて本を探してもらうということも図書館の利用のあり方として良いのではないのでしょうかという話もさせていただきました。

(梓委員) 意外な掘り出し物、こんな本があるわと思ってもらえたらと思いますね。

(事務局丸尾) あわせて、この件については、毎月出している『みんなの本棚』でも、インターネット予約の紹介と本を探す楽しみをPRしていこうと思います。

(渡辺委員) 検索するパソコンがなかなか空かない。若い人は本があるか無いかパソコンで確認してから利用しているが、なかなかパソコンが空かない。

(事務局高田) 館内の表示では30分以内で交代するよう表示し、交代していただくようお願いしている。長い場合は声をかけています。

(梓委員) かなり並べられますか？

(事務局高田) 時間帯にもよりますが、混み合っていることが多いです。台数を増やすことも考えられますが、台数を増やしても、それに伴い需要が増えるという

意見もあり、難しいところです。図書館では、供給を増やすと需要も増える。サービスを増やさないと需要も増えないという歴史的経過があります。

(梓委員) レファレンスを知らない人もいらっしゃるので、パソコンだけではなく、図書館員に聞くことを声かけされたら良いかもしれませんね。

(中尾委員) 外壁工事は開館したまま行うのでしょうか。

(事務局高田) はい、開館しながら実施します。かなりうるさくなるのですが、休館まではどうかと判断し、開館する予定です。いつも静かなので、どのような状況になるのかわからないので、利用者対応が悩みどころです。

(中尾委員) 事前に周知していると思いますが、それを怠ると苦情が出ると思います。

(事務局高田) そのとおりだと思っています。

(中尾委員長代理) その他なにかございますか。

(北里委員) 工事についてですが、催しの中止など、具体的な広報はどうか。

(事務局高田) 事前の広報は必要だと考え、館内に掲示をしております。

(事務局丸尾) 広報あしやと『みんなの本棚』には工事のお知らせは載せました。

(中尾委員) 『みんなの本棚』が小さくなった理由は。

(事務局丸尾) 以前は今の倍の大きさで発行していたのですが、編集会議の中で、職員から紙面が間延びしている等意見が出たので、サイズを小さくして、ビジュアル的なものも増やしました。

(中尾委員) 字は小さくなっていないでしょうか。

(事務局丸尾) 今のところ苦情は聞いていません。

(事務局高田) 4面のカレンダーを家の冷蔵庫に貼って頂いて、図書館利用を生活の中に取り込んでいただけるように検討してほしい、とは編集会議に指示しました。

(大竹委員) 簡潔になって良くなったと思います。

(中尾委員) 概ね好評ということですね。

(中尾委員長代理) その他なにかございますか。それでは、閉会いたします。

(閉会)